

大会日程

JSSGS 第 13 回大会 プログラム(6 月 28・29 日)

		第 1 日目		第 2 日目		
		会場 A	会場 B	会場 A	会場 B	
9:00						
9:30						
10:00						
10:30						
11:00						
11:30						
12:00		受付		一般発表 A (30 分×2 題)	一般発表 B (30 分×2 題)	
12:30						
13:00		全体会 (45 分)		昼食 (60 分)		
13:30						
14:00		【分科会 1-A】 日本人のスポーツライフに 関するジェンダー分析 (150 分)	【分科会 1-B】 人間の生存・身心問題とス ポーツ・ジェンダー学の射程 : 起点再考のために Equality の科学の 視座構築に向けて(3) (150 分)	【分科会 4-A】 スポーツにおける セクシュアル・ハラスメント ースポーツ組織における セクハラ防止ガイドライン の作成ー (150 分)	【分科会 4-B】 体育・スポーツの歴史の 中でジェンダーを考える ー日本の女性体育・スポー ツ黎明期への視点ー (150 分)	
14:30						
15:00						
15:30						
16:00		【分科会 2-A】 体育カリキュラムのジェンダ ー・ポリシーを考える 「競争-協同」の再検討 (120 分)	【分科会 2-B】 ジェンダー視点を持って 研究を進めよう! ー若手研究者・大学院生の 研究発展のための勉強会ー (120 分)	15 分		
16:30						
17:00						
17:30				総会(120 分) 18:30 終了		
18:00						
18:30		情報交換会(120 分) 20:30 終了				

大会プログラム

大会テーマ：スポーツ・ジェンダー学の射程

< 6月28日（土） >

13:00 ~ 13:45 **全体会** (0603教室)
開会挨拶、大会趣旨の説明等

13:45 ~ 16:15 **分科会 1**

- A 日本人のスポーツライフに関するジェンダー分析 (0604 教室)
- ・子どものスポーツライフに関するジェンダー分析
—4~9歳のスポーツライフに関する調査2013より—
武長理栄（笹川スポーツ財団）
 - ・「スポーツライフに関する調査」の男女差を確認する
—成人／青少年／子どものスポーツライフ・データより実施率に着目し—
工藤保子（笹川スポーツ財団）
 - ・運動・スポーツ種目の実施率の男女差について
—実施率の時系列変化に着目して—
大勝志津穂（愛知東邦大学）
 - ・青少年の瘦身傾向・願望に関するジェンダー分析
—「10代のスポーツライフに関する調査2013」より—
高峰修（明治大学）
- B 人間の生存・身心問題とスポーツ・ジェンダー学の射程：起点再考のために
Equalityの科学の視座構築に向けて(3) (0605 教室)
- ・人間の生存・身心問題とスポーツ・ジェンダー学の射程：起点再考のために
Equalityの科学の視座構築に向けて
跡見順子、清水美穂、藤田恵理（東京農工大学 セルツァーボディダイナミクスラボ）
 - ・身体を含む人権論の可能性とジェンダー
スポーツとセクシュアリティに関する考察試論
建石真公子（法政大学）
 - ・「プラトンの『法律（ノモイ）』における教育について
—特にスポーツとジェンダーの視点から—」
葛西康德（東京大学文学部）
 - ・生命科学教育に女性の視点を 日米教科書比較から見えてくる課題
藤田恵理、清水美穂、跡見順子（東京農工大学 セルツァーボディダイナミクスラボ）
 - ・男女共同参画の新潮流～スポーツとジェンダー学会への期待～
我が国における男女共同参画学協会連絡会の功績と課題
清水美穂、藤田恵理、跡見順子（東京農工大学 セルツァーボディダイナミクスラボ）

16:15 ~ 18:15

分科会 2

A 体育カリキュラムのジェンダー・ポリティクスを考える

「競争-協同」の再検討 (0604 教室)

・体育カリキュラムのジェンダー・ポリティクスを考える

—近年の教育政策と体育における「競争-協同」の変質—

井谷恵子 (京都教育大学)

・体育カリキュラムのジェンダー・ポリティクスを考える

—「なわとび運動」を事例に競争・協同・ジェンダーを考える—

近江望 (京都教育大学非常勤)、

池川佳志 (京都教育大学大学院・大阪市立焼野小学校)

B ジェンダー視点を持って研究を進めよう！

—若手研究者・大学院生の研究発展のための勉強会— (0605 教室)

岩佐直樹 (中京大学大学院)、波多野圭吾 (国土館大学大学院)

18:30 ~ 20:30

情報交換会 (2号館 1F: アレーナ)

< 6月29日(日) >

9:00 ~ 11:45

分科会 3

A 主流化される女性身体 現代ヨガにおける取り組みを通じて (0604 教室)

藪田美紀子 (ニンヨウヨガ代表)、入江恵子 (京都大学)、水野英莉 (京都大学)

B セクシュアル・マイノリティのスポーツ環境 (0605 教室)

・セクシュアル・マイノリティのスポーツ環境

体育・スポーツ専攻学生に対する質問紙調査から見える日本の現状

飯田貴子・吉川康夫 (帝塚山学院大学)、藤山新 (東洋大学現代社会総合研究所)、

藤原直子 (椋山女学園大学)、來田享子・風間孝 (中京大学)

・モータースポーツ界におけるセクシャル・マイノリティ

～ アメリカ合衆国におけるトランスジェンダー及び女性ドライバーの受容 ～

石田依子 (独立行政法人国立高等専門学校機構 大島商船高等専門学校)

・総合格闘技におけるトランスジェンダー競技者の事例

競技への参加資格と競技の公平性を中心に

松宮智生 (国土館大学)

・スポーツは性を分けて競技する必要があるか

來田享子 (中京大学)

11:45 ~ 12:15

一般発表 1

- A スポーツのジェンダー問題に対する哲学的考察序説 (0604 教室)
竹村瑞穂 (早稲田大学)
座長: 風間孝 (中京大学)
- B ダンス教育におけるジェンダー 研究の変遷と今後の課題 (0605 教室)
猪崎弥生 (お茶の水女子大学)、永田麻里子、酒向治子 (岡山大学)
座長: 宮本乙女 (日本女子体育大学)

12:15 ~ 12:45

一般発表 2

- A スポーツの中のスパルタ教育
大松博文監督と日本女子バレーボール指導の言説 (0604 教室)
メルクレイン イヴォナ (東京大学大学院情報学環)
座長: 合場敬子 (明治学院大学)
- B 体育・スポーツの戦時編成とジェンダー
対象者の区分と奨励された運動種目に着目して (0605 教室)
鈴木楓太 (一橋大学大学院)
座長: 樹水通子 (東京女子体育大学)

13:45 ~ 16:15

分科会 4

- A スポーツにおけるセクシュアル・ハラスメント
—スポーツ組織におけるセクハラ防止ガイドラインの作成— (0604 教室)
熊安貴美江 (大阪府立大学)、高峰修 (明治大学)
・スポーツ界のセクハラ防止と組織の責任
防止ガイドラインの作成と履行
牟田和恵 (大阪大学)
- B 体育・スポーツの歴史の中でジェンダーを考える
—日本の女性体育・スポーツ黎明期への視点— (0605 教室)
・華族女学校の女子教育とスポーツ教育理念
—細川潤次郎の『女教一斑』を手がかりとして—
荒井啓子 (学習院女子大学)
・日本の女性体育・スポーツ黎明期における舞踊教育の役割
和光理奈 (中京大学)
・日本の女性スポーツ黎明期における男女のスポーツ組織統一の意味
—水泳と陸上競技を事例に—
木村華織 (東海学園大学)
・1920-30 年代の少女向け雑誌における女性スポーツ選手をめぐる言説の検討
競技会報道と運動美談にみるスポーツ・ヒロインのナラティブ
小石原美保 (国士舘大学)

16:30 ~ 18:30

総会 (0603 教室)